

# 下柳剛さん野球教室開催!



あまぎくん アマリン

下柳 剛(しもやなぎ つよし)プロフィール  
 長崎県長崎市出身。1968年5月16日生まれ。184cm95kg。投手(左投 左打)。  
 長崎瓊浦高 — 八幡大中退 — 新日鉄宇津福岡ダイエーホークス(1990年ドラフト4位) 日本ハムファイターズ(1996年) 阪神タイガース(2003年) 楽天イーグルス(2012年) 2013年3月20日 引退  
 現在は野球解説者として活躍。  
 ■主なタイトル:  
 最多勝 2005年(15勝) 月間MVP 2回(2000年8月・2005年9月) オールスター 5回(1994年・1997年・2001年・2005年・2008年)  
 ■通算成績:  
 627試合129勝106敗22セーブ、防御率3.92。

2014年2月17日奄美新聞記事より  
 阪神タイガース時代の2005年に最多勝投手となるなど活躍した元投手で現在野球解説者の下柳剛さん(45)の直接指導による少年野球教室が16日、天城町総合運動公園陸上競技場であった。徳之島3町から9チーム約120人の球児たちが参加。あこがれの元プロ選手の直接指導を通してふれあい、信念を持って自分の夢実現に突き進むことの大切さも学んだ。

教室実現のきっかけは、米国を中心にレストランチェーン店を展開する天城町出身の事業家重田光康さん(48)＝ロサンゼルス在住。昨年2月、下柳さんがロサンゼルス・ドジャースのトライアウトに参加した時から親交、昨年11月には天城町も初訪問。地元関係者の「野球教室でも…」の何気ない打診に下柳さんは二つ返事で快諾、意気投合していた。

地元サイドでは3町の野球連盟関係者たちが「離島という距離的ハンディを背負って野球をする子どもたちに、有名な元プロ野球選手の直接指導

でふれわせて夢を」と奮起。「目指せ! 徳之島からプロ野球実行委員会」(松本修会長)を組織して準備を進めた。

開会式で下柳さんは、「将来プロ野球選手になれると思う人は手を挙げて」の質問に対し挙手で応えた球児が数人にとどまったことから、「『絶対に(プロ選手)になれる!』と信念を持って突き進むことが大事だ」と早くもゲキを飛ばした。ストレッチなどウォーミングアップ後、「その1球1球がプロにつながる。雑にやってはいけない」とキャッチボールを皮切りに、投球・守備の順に基本技術を指導。下柳さん相手の「バッティング対決」、質問コーナーなども交え約3時間ふれあいを深めた。

下柳さんと重田さんは「この中から1人でもプロ野球選手が生まれて欲しい。ふるさとのため少しでも貢献したい」。参加した花徳スポーツ少年団の奥田優斗君(6年)は「うまい元プロ野球選手に教わったのは幸運。技術では特にワン・バウンド送球も上手になりました。将来の夢はプロです」と話した。

スポニチ『下柳剛のシモネタ発見』連載中!

下柳剛オフィシャルサイト～Shimoyanagi.com～ <http://www.shimoyanagi.com/>

## 「夢実現に突き進め」



奄美新聞2014.2.17



南海日日新聞2014.2.17



# 第1回全日本フルコンタクト空手道選手権大会

## 5月17日(土)-18日(日) 大阪市中央体育館

全日本フルコンタクト空手道連盟(JFKO)は、フルコンタクト空手界の大同団結を目指し、初の全国統一組織として昨年3月に発足しました。JFKOは、主にフルコンタクトルールに則って競技を行う諸団体に組織されるもので、現在国内236団体と海外96の国と地域が加盟する複数の国際団体の方で成形されます。未来に向けて社会体育としてのフルコンタクト空手の確立と、その先に見えるオリンピック種目化に向けて取り組んでいます。初の統一大会となった「第1回全日本フルコンタクト空手道選手権大会」は超満員1万人の観衆を集め、ミュージシャンの長瀬剛さんもスペシャルライブで花を添えたため、会場は立ち見も出るほどの大盛況となりました。



朝日新聞 2014年4月12日朝刊



朝日新聞 2014年4月12日朝刊



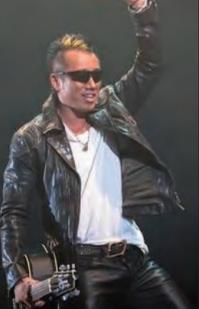
### 大会入賞者

同志会顧問でJFKO理事長の緑代表お疲れ様でした!

スカパー!、ケーブルテレビ J-SPORTS 3 放送予定 6月19日(木) 午後9:00～深夜0:00 / 6月21日(土) 午前5:00～午前8:00 / 6月29日(日) 午後6:30～午後9:30

今、空手の道がひとつになる。

長瀬剛さん LIVEも開催!



バッティングフォームのチェック



守備の練習



守備からの投球フォームチェック



## 目指せ! 徳之島からプロ野球選手!



ピッチングフォームのチェック



バッティング対決

下柳さんの開会の挨拶にみんなの熱い視線は真剣そのものでした。



徳之島からプロ野球実行委員会 松本修、中島友記、宮村英伸、大山拳、琉天明、西松洋仁、貞優樹、上田健太、亀澤大地、椎名淳、大澤誠一郎、真形昌弘、米田義仁、前田誠、井川大二郎、高橋徹、泰山瑞穂

## 下柳さんへ感謝のことは



わざわざ徳之島まで来ていただき野球教室を開いていただきありがとうございました。キャッチボールの基本やストレッチ、バッティングの基本を教えてくださいありがとうございました。これからの練習をがんばっていただきます。将来はプロに行けるようにがんばりたいです。  
 下柳さんから打ったランニングホームランを忘れずに、練習をがんばって次はオーバーフェンスできるようにいっぱい食べていっぱい寝て大きくなって力をつけていきます。  
 また徳之島に来て下さい。  
 岡前野球スポーツ少年団 盛田竜生 岡前小学校 バッティング対決優秀賞



神之嶺小学校5年 野中結貴  
 はるばる遠いところから来てくださってありがとうございました。下柳さんがおっしゃった一つのトレーニングを頭の中に入れて、練習をしています。おっしゃった全ての練習をします。そして、下柳選手のように最多勝投手になりたいです。  
 二月十六日は、僕たちにとって大切な日になりました。大変だとは思いますが、また徳之島にいらしてください。ありがとうございました。



神之嶺小学校4年 岩崎虎次  
 この前は、内野手のボールの取り方などを教えていただきありがとうございました。体重移動のキャッチボールの仕方や腰を低く左足の前で取る取り方などを教えてもらって良かったです。これから試合などでいかしていきたいです。  
 ほかはまだ打てませんが、下柳選手に教えてもらったことを忘れずにチームで大活躍できるようにがんばりたいです。  
 この前は本当にありがとうございました。



永井 拓郎  
 ほかは、下柳選手の野球教室に参加して、いろいろな事を教わりました。  
 まず、キャッチボールで体重移動の仕方を教わりました。僕は体重移動の仕方がおかしいので、下柳選手が教えてくれた練習方法を取り入れていきたいです。今回はこのような野球教室を行ってくださってありがとうございました。また、ご機会がありましたら教えに来て下さい。

基 勇真  
 下柳選手の野球教室を受けた。まずは、キャッチボールからしたとき、体重移動を意識したやり方を教わりました。後いろいろバッティングのことだったり基本的なことを教わりましたが、それを今後練習で生かしていきたいなと思います。野球教室を開いてくださってありがとうございました。

福 慎太郎  
 今回の野球教室はとても楽しく、為になる練習方法を教えてくださりありがとうございました。とくに、ピッチャーの時、一回キャッチャーから目を離して投げる方法を教わった時、「なるほど」と思いました。それから、下柳さんが教えてくださったことをしていたら、前より球速のあるボールを投げることができました。ありがとうございました。

高田 歩来  
 二月十六日、下柳選手の野球教室を受けて、野球の基本を聞いて、改めて大切なことを教えられて、より大事にしようと思いました。この大切な時間に教わったことを生かしていきたいです。野球教室を開いてくださってありがとうございました。



松本明愛千ちゃん

感謝  
 下柳さんお久しぶりです。徳之島での野球教室ありがとうございました。実行委員、子供達、父兄の方々にとって一生の思い出になりました。下柳さんの指導を直接見て学び交流できたことが、子供達にとって将来に繋がりに残る時間でした。  
 本当にありがとうございました。子供達からもお礼の手紙を頂きましたので、送ります。また機会がありましたら宜しくお願いします。野球教室の時は何も出来ませんでした。十月にいらした時は十分おもてなしをさせて下さい。牛も今のところ順調に鍛えています。楽しみにしてください。十月徳之島で待っています。  
 松本 修・中島 ともつちよ

PS. 46歳のお誕生日おめでとうございます。ちなみの娘の明愛千も1日違い17日生まれます。プロ野球解説、シモネタ発見、たまに聞いたり見ます。益々のご活躍を心より祈っております。



10月場所で闘う予定の下柳さんの大好きな牛



## 夢

新撰組同志会は、あなたの夢を応援します!



荒木 俊一 東北大学 (あらかしゅんいち) 医学部医学科2年生

皆さんこんにちは。東北大学医学部医学科2年の荒木俊一です。私が二年の浪人生活を経て、ここに入学してから、ちょうど一年が経過しようとしています。高校までは、勉強をそこまでせずとも成績が良かったのが裏目に出て、国立大学医学部受験の壁に阻まれてしまい三年を費やしました。しかしその間の努力があったからこそ合格した時の喜びは大変なものでした。何より両親をはじめとして支えてくれた方々が喜んでくれた事が幸せでした。  
 しかし、医学部に入り医師になることは、途中経過であってゴールではありません。私の夢は「何でもいから、世の中の役に立つ大きな事をする事」です。進路については高校時代からいろいろと悩んできましたが、この漠然とした目標がなく、役に立つ=人を助ける=医師と考える医学部に進学することを決意しました。  
 これから、臨床医、研究医、または違う道に進むかもしれませんが、様々な人との出会い、医学の勉強を通じて、その目標を明確化させたいです。以下、受験生に対してアドバイス  
 本番のテスト中、最後まで自分を信じ切ったら合格は固いです。しかし、それは簡単な事ではありません。本当に自分を信じ切るために、一年を過ごして下さい!

最新歯科医療の知見に基づきマウスガードでケガを予防。トップアスリートを歯科の立場でサポートする。



つきむら なおき 月村 直樹さん

昭和37年東京生まれ。歯学博士。日本大学歯学部歯科補綴学 准教授 日本大学付属歯学部付属歯科病院 スポーツ歯科科長 日本スポーツ歯科医学会 理事  
 同志会ニュース第6号 夢のコーナーにも 寄稿していただきました。